


# テルライン・チェッカー<sup>®</sup>

## K D 3300 取扱説明書



はじめに

このたびは、テルライン・チェッカー KD 3300をご購入いただき、まことにありがとうございます。ご使用まえにこの取扱説明書をよくお読みになり、作業の良きパートナーとしてご愛用いただきますようお願いいたします。

 株式会社 古賀電子

# 目次

- 安全上のご注意 .....2
- お取り扱いについてのお願ひ .....3
- 本機の特徴 .....4
- 用途 .....4
- 付属品の確認 .....4
- 本体各部の名称と機能 .....6
- 接続のしかた .....8
  - イヤホン・マイクの接続のしかた .....8
  - 通話コードの接続のしかた .....8
  - 導通試験コードの接続のしかた .....9
- 基本的な使い方 .....10
  - 電池交換のしかた .....10
  - イヤホン・マイクの身に付け方 .....10
  - 通話のしかた .....10
  - 導通試験のしかた .....11
  - 呼び出しのしかた .....13
  - 呼び出しの応答のしかた .....13
  - 音声モニタのしかた .....13
- 便利な使い方 .....13
  - 省電力機能を使う .....13
  - 節電機能を使う .....13
  - 自動音声切り替えを使う .....13
  - 1動作で通話機能に切り換える方法 .....13
- 仕様 .....14
- 故障と思われる前に .....15
- お問い合わせ先 .....16
- 保証とアフターサービス .....16

# 安全上のご注意

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡など人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項をお守りください

この「安全上のご注意」をよくお読みください。

故障したら使わないで下さい

不具合が生じた場合は、必ず当社窓口にご相談ください。

警告表示の意味

この取扱説明書及び製品では、次のような表示をしています。  
表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

**警告**

この表示の注意を守らないと、火災・感電などにより死亡や大ケガなど人身事故になることがあります。

**注意**

この表示の注意を守らないと、感電その他の事故によりケガをしたり、周辺の器物に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号	行為を禁止する記号	行為を指示する記号
火災 感電	禁止 分解禁止 水場での使用禁止	強制

**警告**

電灯線や電源線、動力線に接続しないでください  
火災や感電の原因となることがあります。



禁止

通話コード、導通試験コードを接続するときは、感電防止のため、プラグをジャックに差し込んでから、ワニグチクリップを目的の線に接続して下さい。



強制

通話コード、導通試験コードをはずすときは、感電防止のため、ワニグチクリップをはずしてから、プラグを抜いてください。



強制

分解や改造はしないで下さい。  
本体や付属品、オプション品を分解したり、改造したりしないでください。故障や感電、火災などの原因となります。



分解禁止

湿気、水濡れ、直射日光はさけて下さい。  
感電や火災を防止するため、本体や付属品、オプション品を次のような場所には放置しないで下さい。

- ・湿気やほこりの多い場所
- ・雨水や海水に濡れやすい場所
- ・車の中などの直射日光の当たる場所



禁止

使用中に万一異常（音、におい、煙などが起きた場合は、ワニグチクリップをはずし、使用を中止して下さい。中止したのち修理をご依頼すると同時に当社窓口へご連絡ください。



強制

雷鳴が聞こえたら

雷鳴が聞こえたときは、ワニグチクリップをはずし、他の貴金属類と同様にバッグ等にしまい、身体から十分に離して下さい。



強制



注意

濡れた手で本体及びコードを触らないで下さい。感電の原因となることがあります。



禁止

イヤホン・マイクのイヤホン部、モニタスピーカの磁石に画鋸やピン等の金属が付着し、思わぬケガをすることがあります。吸着物がないことお確かめてからご使用ください。



強制

乾電池交換の際には、液漏れ防止のため、2本とも新品と交換してください。



強制

乾電池の極性は、図に合わせてください。



強制

長期にわたって本機を保管する場合は、乾電池の液漏れ防止のため、乾電池をはずしてください。



強制

## お取り扱いについてのお願い

本機は防水仕様になっておりません。  
浴室など、湿気の多い場所ではご使用にならないでください。また、雨などがかからないようにご注意ください。故障の原因となります。



水場での  
使用禁止

極端な高温、低温でのご使用は避けて下さい。

強い衝撃を与えないで下さい。故障の原因となります。

お手入れの際は、乾いた柔らかい布で拭いて下さい。むれた雑巾などは使わないでください。ベンジン、シンナー、洗剤などを用いると外装や印刷が変質する事がありますのでご注意ください。

## 本機の特徴

- ・保安器内蔵
- ・呼び出し機能
- ・遠距離通話可能
- ・通話をしながら導通チェックが可能
- ・有線通話なので場所を選ばない
- ・軽量、小型（ポケットサイズ）

## 用途

- ・電気工事及び、配電盤工事、構内での保守
- ・プラント内の作業連絡及び、配線チェック
- ・建設工事現場、発電所など電話がないところ
- ・電話回線チェック及び、打ち合わせ
- ・屋外ステージ、スタジオ、劇場での連絡

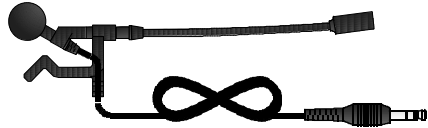
## 付属品の確認

No.	品 名	数量
1	本 体	1
2	イヤホン・マイク	1
3	通 話 コ ー ド	1
4	導 通 試 験 コ ー ド	1
5	L R 6 アルカリ乾電池	2
6	取 扱 説 明 書	1
7	保 証 書	1

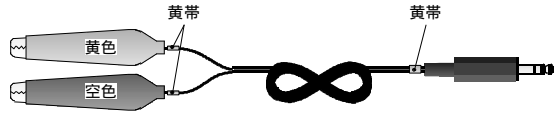
本体



イヤホン・マイク



通話コード



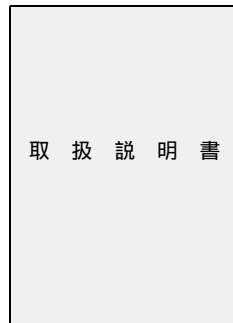
導通試験コード



乾電池



取扱説明書

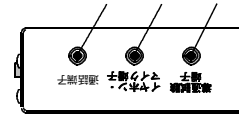


保証書

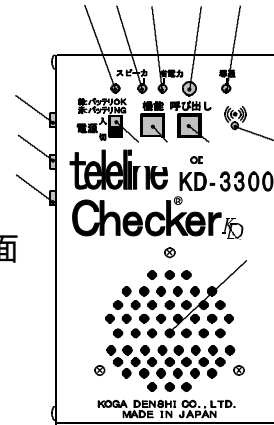


### 本体各部の名称と機能

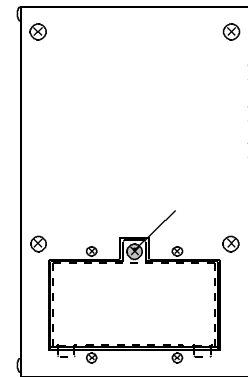
上面



正面



背面



電源スイッチ	[ 入 ] 側 [ 切 ] 側	電源入 電源切
電源表示ランプ	[ 緑色 ] [ 赤色 ] [ 消灯 ]	電源入時、電池電圧 良好 電源入時、電池電圧 低下 電源切時又は、電池切れ時
機能スイッチ	1 回押すごとに、以下の機能が切り替わります。 [ 通話機能 ]	マイク、イヤホンを使用して通話する機能です。 モニタスピーカは使えません。 消灯
	[ 省電力機能 ]	消費電力を抑える機能です。 マイク、イヤホン、モニタスピーカは使えません。 消灯、赤色点灯
	[ スピーカ機能 ]	モニタスピーカより、音声を聞く機能です。 マイクは使えません。 オレンジ色点灯、消灯
スピーカ表示ランプ	[ オレンジ色点灯 ] [ 消灯 ]	スピーカ機能 選択時 " 非選択時
省電力表示ランプ	[ 赤色点灯 ] [ 消灯 ]	省電力機能 選択時 " 非選択時
呼び出しスイッチ	極短時間押す 1 秒以上押す	通話機能に切り替わります。 接続先の K D 3 3 0 0 を呼び出します。
呼び出し表示ランプ	[ 赤色点滅 ] [ 消灯 ]	呼び出し時 非呼び出し時
リング		呼び出し時、電子音を発します。
導通表示ランプ	[ 赤色点灯 ] [ 消灯 ]	導通試験端子間導通時 導通試験端子間非導通時
モニタスピーカ		スピーカ機能選択時、接続先の音声を聞く事ができます。
通話端子ジャック		付属の通話コード（黄帯）を接続して下さい。
イヤホン・マイク端子ジャック		付属のイヤホン・マイクを接続して下さい。
導通試験端子ジャック		付属の導通試験コード（赤帯）を接続して下さい。
マイク感度ボリューム		マイク感度を調整します。
イヤホン音量ボリューム		イヤホン音量を調整します。



聴覚障害を起しますので、音量は上げすぎないで下さい。

注意



禁止

モニタスピーカ音量ボリューム	モニタスピーカ音量を調整します。
電池ボックスカバー	
電池ボックスカバー固定ネジ	電池ボックスカバーを固定します。
電池ボックス	L R 6 アルカリ乾電池 2 本が入ります。

## 接続のしかた

### イヤホン・マイクの接続のしかた

電源スイッチ [ 切 ] 側にしてください。

イヤホン・マイク端子ジャックにイヤホン・マイクのプラグを奥まで差し込んでください。

### 通話コードの接続のしかた

電源スイッチ [ 切 ] 側にしてください。

通話コードのワニグチクリップ [ 黄、空 ] には何も接続しないでください。

通話端子ジャックに通話コードのプラグを奥まで差し込んでください。

通話コードのワニグチクリップ [ 黄、空 ] を通話線に接続してください。



警告



火災



感電

・電灯線や電源線、動力線に接続しないでください  
火災や感電の原因となることがあります。

・通話コードを接続するときは、感電防止のため、プラグをジャックに差し込んでから、ワニグチクリップを目的の線に接続して下さい。

・通話コードをはずすときは、感電防止のため、ワニグチクリップをはずしてから、プラグを抜いてください。



禁止

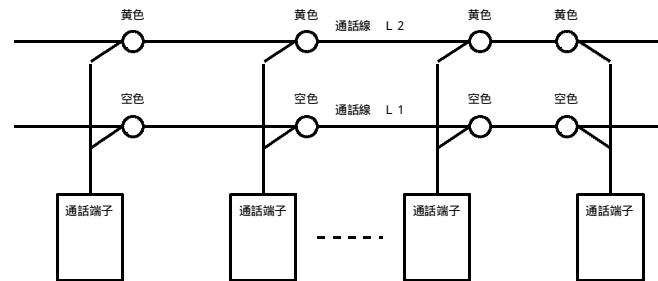


強制

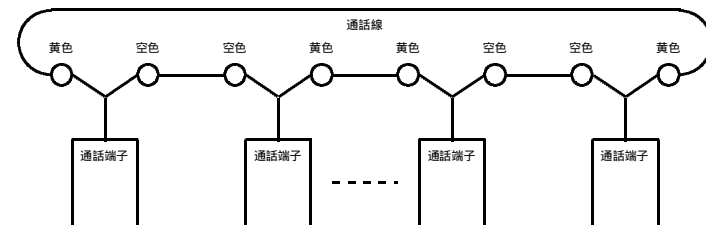


強制

### 並列（パラレル）接続



### 直列（シリアル）接続



導通試験コードの接続のしかた

電源スイッチ [ 切 ] 側にしてください。  
 導通試験コードのワニグチクリップ [ 赤、黄 ] には何も接続しないでください。  
 導通試験端子ジャックに導通試験コードのプラグを奥まで差し込んでください。  
 導通試験コードのワニグチクリップを被試験線に接続してください。

試験側 [ 赤色 ]  
 ジャンパー側 [ 黄色 ]



- ・電灯線や電源線、動力線に接続しないでください  
火災や感電の原因となることがあります。
- ・導通試験コードを接続するときは、感電防止のため、プラグをジャックに差し込んでから、ワニグチクリップを目的の線に接続して下さい。
- ・導通試験コードをはずすときは、感電防止のため、ワニグチクリップをはずしてから、プラグを抜いてください。



基本的な使い方

電池交換のしかた

電池ボックスカバー固定ネジをゆるめてはまずしてください。なお、ネジはなくさないように保管してください。

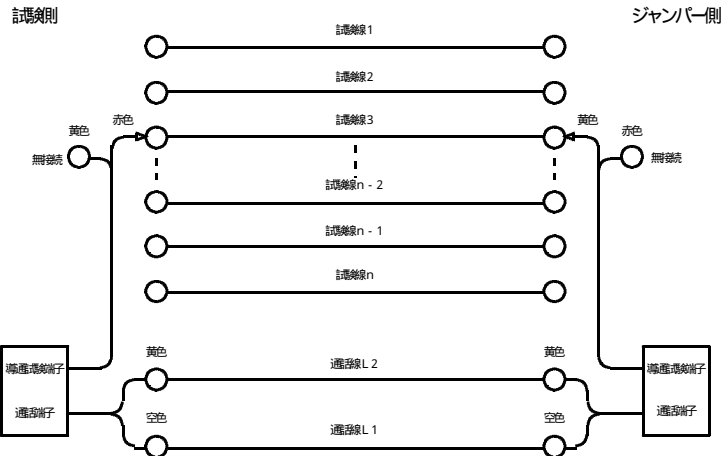
電池ボックスカバーをはずしてください。  
 電池ボックスの乾電池 2 本を新品の L R 6 アルカリ乾電池に交換してください。  
 電池ボックスカバーをはめてください。  
 電池ボックスカバー固定ネジを締めてください。



- ・電池交換の際には、液漏れ防止のため、2 本とも新品と交換して下さい。
- ・乾電池の極性は、図に従って下さい。
- ・長期にわたって本機を保管する場合は、乾電池の液漏れ防止のため、乾電池をはずしてください。
- ・乾電池は L R 6 アルカリ乾電池 (大電流用) を使用してください。

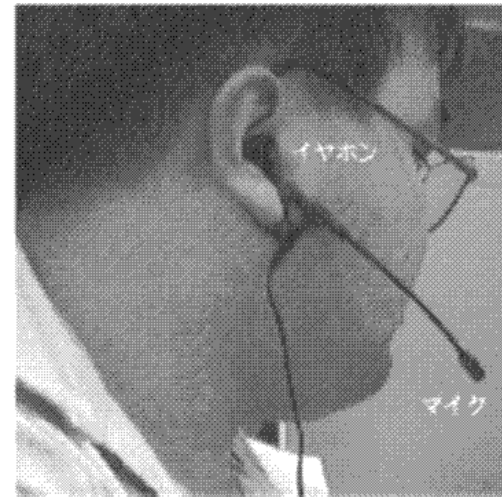


例 ) 3線式



イヤホン・マイクの身に付け方

以下の写真に従って耳に装着して下さい。



通話のしかた

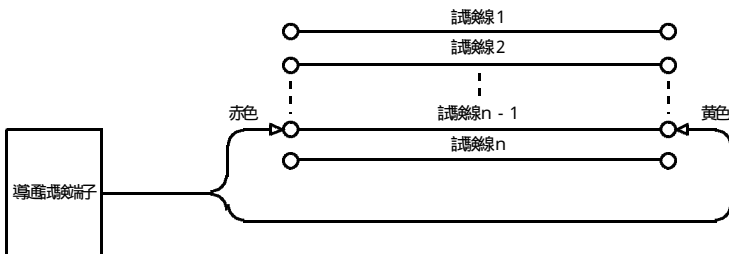
イヤホン・マイクの接続を確認してください。  
 通話コードの接続を確認してください。  
 各ボリュームを最小位置にしてください。  
 電源スイッチを [ 入 ] 側にしてください。  
 イヤホン・マイクを耳に装着してください。  
 マイク感度、イヤホン音量ボリュームを最適位置に調整してください。

導通試験のしかた

2線式 通話せずに導通試験を行うとき。  
 作業者は1人又は、2人。(直接会話できる距離にいる場合。)

- イヤホン・マイクの接続を確認してください。
- 通話コードの接続を確認してください。(ワングチクリップは解放してください。)
- 導通試験コードの接続を確認してください。
- 各ボリュームを最小位置にしてください。
- 電源スイッチを[入]側にしてください。
- イヤホン・マイクを耳に装着してください。
- イヤホン音量ボリュームを最適位置に調整してください。

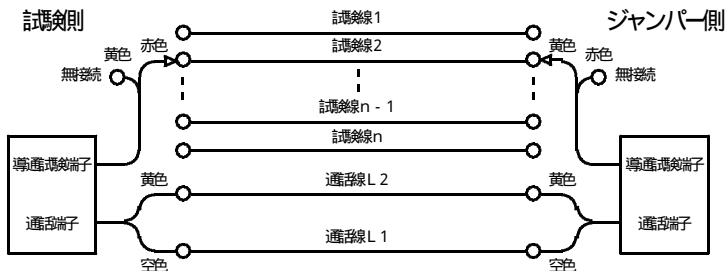
- ・導通時 導通表示ランプが点灯。  
 イヤホンよりブザー音が出ます。  
 イヤホン・マイクの代わりにモニタスピーカを使用できます。



3線式 通話しながら導通試験を行うとき。  
 作業者は2人以上。(通話相手と導通試験を行う場合。)

- イヤホン・マイクの接続を確認してください。
- 通話コードの接続を確認してください。
- 導通試験コードの接続を確認してください。
- 各ボリュームを最小位置にしてください。
- 電源スイッチを[入]側にしてください。
- イヤホン・マイクを耳に装着してください。
- マイク感度、イヤホン音量ボリュームを最適位置に調整してください。

- ・導通時 { 試験側 導通表示ランプが点灯。  
 イヤホンよりブザー音が出ます。  
 ジャンパー側 イヤホンよりブザー音が出ません。

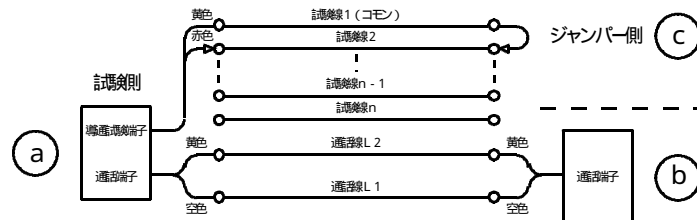


4線式 通話しながら近くにいる作業者と導通試験を行うとき。

作業者は3人以上。 { 作業者 a 自分  
 作業者 b 通話相手。  
 作業者 c 作業者 a または、b と直接会話できる距離にいる人。 }

- イヤホン・マイクの接続を確認してください。
- 通話コードの接続を確認してください。
- 導通試験コードの接続を確認してください。
- 各ボリュームを最小位置にしてください。
- 電源スイッチを[入]側にしてください。
- イヤホン・マイクを耳に装着してください。
- マイク感度、イヤホン音量ボリュームを最適位置に調整してください。

- ・導通時 { 試験側 (作業者 a) 導通表示ランプが点灯  
 イヤホンよりブザー音が出ます。  
 ジャンパー側 (作業者 c) 作業者 a または、b に確認する。



## 呼び出しのしかた

呼び出しスイッチを1秒以上押してください。  
マイクを通して呼びかけられます。

## 呼び出しの応答のしかた

スピーカ機能になっている場合は、呼び出しスイッチを極短時間押し、通話機能に切り換えてください。  
イヤホン・マイクで通話してください。

## 音声モニタのしかた

機能スイッチを押し、スピーカ機能に切り換えてください。  
モニタスピーカ音量ボリュームを最適位置に調整してください。  
マイクは使えません。  
マイク消音（ミュート）として使用できます。

## 便利な使い方

## 省電力機能を使う

機能スイッチを押し、省電力機能に切り換えてください。

## 節電機能を使う

通話端子にプラグが差し込まれていない時は、電源が[切]になります。

## 自動音声切り替えを使う

イヤホン・マイク端子にプラグが差し込まれていない時は、通話機能はスピーカ機能に切り替わります。

## 1動作で通話機能に切り換える方法

呼び出しスイッチを極短時間押し、通話機能に切り替わります。

## 仕様

項	目	内 訳
通 話 端 子	入出力抵抗（直流）	約300
	入出力抵抗（交流）	600
	入力感度	-40dB
	定格出力	10dBm
導通試験端子	試験方式	3線式、電流検出方式
	出力抵抗	4K 以上
	出力（導通時）	-20dBm以上
表示	導通時	LED点灯、ブザー音送出
	非導通時	LED消灯、無音
イヤホン・ マイク端子	マイク入力方式	E.C.M.方式
	マイク感度	-40dB
	音声出力方式	ダイナミックスピーカ方式
	定格出力	10mW
モニタスピーカ	音声出力方式	ダイナミックスピーカ方式
	定格出力	200mW
リング呼び出し音	音色	3750 Hz断続
	音圧レベル	50dB
電 源	乾電池	LR6アルカリ乾電池×2
	電池寿命	スピーカ「切」時、20h以上
本 体 外 形 寸 法		W80×H130×D29mm (突起部含まず) 重量：420g(乾電池含む)
コ ー ド 長	通話コード	2.0 m
	導通試験コード	2.0 m
	イヤホン・マイクコード	1.0 m



## 故障と思われる前に

状 況	原 因	対 処
電源スイッチを入れても電源が入らない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>乾電池は入っていますか。</li> <li>乾電池は切れていませんか。</li> <li>通話コードのプラグは差し込まれていますか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新品の乾電池を入れてください。</li> <li>新品の乾電池と交換してください。</li> <li>プラグを差し込んでください。</li> </ul>
相手に音声が伝わらない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>電源が入っていますか。</li> <li>通話コードの接続は、合っていますか。</li> <li>イヤホン・マイクのプラグは差し込まれていますか。</li> <li>マイク感度は最適ですか。</li> <li>自分は通話機能ですか。</li> <li>相手は省電力機能ですか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>電源を入れてください。</li> <li>接続を正しく直してください。</li> <li>プラグを差し込んでください。</li> <li>マイク感度ボリュームを調整してください。</li> <li>機能スイッチを押して、通話機能に切り換えてください。</li> <li>呼び出しスイッチを押してください。</li> </ul>
相手の音声が伝わらない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>電源が入っていますか。</li> <li>通話コードの接続は、合っていますか。</li> <li>イヤホン・マイクのプラグは差し込まれていますか。</li> <li>イヤホン音量は最適ですか。</li> <li>モニタスピーカ音量は最適ですか。</li> <li>自分は省電力機能以外ですか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>電源を入れてください。</li> <li>接続を正しく直してください。</li> <li>プラグを差し込んでください。</li> <li>イヤホン音量ボリュームを調整してください。</li> <li>モニタスピーカ音量ボリュームを調整してください。</li> <li>機能スイッチを押して、通話機能または、スピーカ機能に切り換えてください。</li> </ul>
モニタスピーカが鳴らない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>電源が入っていますか。</li> <li>通話コードの接続は、合っていますか。</li> <li>自分はスピーカ機能ですか。</li> <li>モニタスピーカ音量は最適ですか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>電源を入れてください。</li> <li>接続を正しく直してください。</li> <li>機能スイッチを押して、スピーカ機能に切り換えてください。</li> <li>モニタスピーカ音量ボリュームを調整してください。</li> </ul>
通話機能に切り替わらない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>イヤホン・マイクのプラグは差し込まれていますか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>プラグを差し込み、機能スイッチを押して通話機能に切り換えてください。</li> </ul>
呼び出しができない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>通話コードの接続は、合っていますか。</li> <li>イヤホン・マイクのプラグは差し込まれていますか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>接続を正しく直してください。</li> <li>プラグを差し込み、呼び出しスイッチを押してください。</li> </ul>

## お問い合わせ先

株式会社 古賀電子

住所 〒254 神奈川県平塚市南原2丁目9-19  
 TEL (0463)34-2334  
 FAX (0463)34-2364

## 保証とアフターサービス

## 保証

- お買い上げいただいた場合には、保証書が添付しています。
- 保証書に「お買いあげ日」及び「販売店」が記載されているかをご確認のうえ、内容をよくお読みになって大切に保管してください。
- 保証期間については保証書に記載されております。
- ご注意 本製品の故障、誤動作または不具合などにより、通話等の機会を逸したために発生した障害などの付随的な障害の補償については当社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

## 修理

- 「故障と思われる前に」をお読みになり、もう一度お調べください。
- それでもご使用になれない場合には、当社窓口にご相談ください。
- 保証期間中の修理： 保証書の記載内容に基づいて修理いたします。
- 保証期間経過後の修理： 修理によってご使用できる場合は、お客さまのご要望により有料にて修理いたします。

## 補修用部品

- 本製品および周辺機器の補修用性能部品の最低保有期間は生産打ち切り後7年間です。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

# 索引

## あ行

安全の注意 2  
 イヤホン音量 7、11、12  
 イヤホン音量 ポリューム 7、15  
 イヤホン音量 ポリューム 7、10、11、12、15  
 イヤホン・マイク 3、5、7、8、10、11、12、13、15  
 イヤホン・マイク端子 13  
 イヤホン・マイク端子ジャック 7、8  
 音声モニタ 13

## か行

乾電池 3、5、7、10、15  
 機能スイッチ 7、13、15  
 警告表示 2  
 警告表示 2

## さ行

3線式 11  
 試験側 9  
 修理 16  
 省電力機能表示ランプ 7、13、15  
 省電力音声切り替え 7  
 自動ジャーンパ側機能 13  
 スピーカー機能表示ランプ 9  
 スピーカー機能表示ランプ 7、13、15  
 スピーカー機能表示ランプ 7  
 節電機能 13

## た行

注意事項 2、3  
 注意事項 2  
 通話機能 10  
 通話機能 7、13、15  
 通話コード 2、5、7、8、10、11、12、15  
 通話線 8  
 通話端子 13  
 通話端子ジャック 7、8  
 電源スイッチ 7、8、9、10、11、12、15  
 電源表示ランプ 7  
 電池交換 10  
 電池ボックス 7、10  
 電池ボックスカバー 7、10  
 電池ボックスカバー固定ネジ 7、10  
 導通試験コード 11、12  
 導通試験端子 2、5、7、9、11、12  
 導通試験端子 7  
 導通試験端子ジャック 7、9  
 導通時 11、12  
 導通表示ランプ 7、11、12

## な行

2線式 11  
 被試験線 9  
 プザ音用品 11、12  
 補修部品 16  
 保証書 16  
 保証書 5、16  
 本体 2、3、4、6

## は行

## ま行

マイク 7、13  
 マイク感度 7、10、11、12、15  
 マイク感度ポリューム 7、15  
 マイク消音(ミュート) 13  
 モニタースピーカー音量 3、7、11  
 モニタースピーカー音量 7、15  
 モニタースピーカー音量ポリューム 7、13、15

## やらわ行ん

呼び出し時 4、7、13  
 呼び出し 7  
 呼び出し 7  
 呼び出し 7  
 呼び出し スイッチ 7、13、15  
 呼び出し表示ランプ 7  
 呼び出し線式 12  
 呼び出し線式 7

メモ

NAME

